



発行
社会福祉法人 十字の園
静岡県引佐郡細江町中川7220-11
TEL <0534> 浜松 ㊞ 1251
印刷 リード印刷 KK

老人公害？

おとしよりをへドロ扱いするな!!

鈴木 生二

驚くべき経済の成長は、私たちの日常生活を随分ゆたかに、

便利にさせましたものの、尻の不始末からとんだ公害をまき散らし、まったく收拾もつかない土壇場に追い込まれてお手あげの態である。地元住民もお役人も政治家も企業家も、各々お互いへの「甘え」がそうさせたのであろう。お互いの現実にもっと厳しくありたいものである。

公害はなにもへドロだけではない。わたしたちの身辺にいくらでもころがっている。

人間公害という言葉は聞く。七〇年代の公害の最たるものは老人だというのだ。ずいぶん非

情な言葉ではないか。働けるうちは重宝がられるが

「寝たきり」になったら家庭も隣人も省みてくれない。使い古された雑巾のように無雑作に捨てられてしまう。へドロを海に棄てるか陸に棄てるかで論議がやかましいが、これと全く同様のことを「老人公害」という言葉に感じない訳にはいかない。

私たちはこの問題を先取りして、既に十年前に「寝たきり老人」のための施設を浜松市郊外に建設し、老人問題解決のために具体的に取組んできた。そして今日では、ホームに生活するおとしよりのたちは、みんな明る

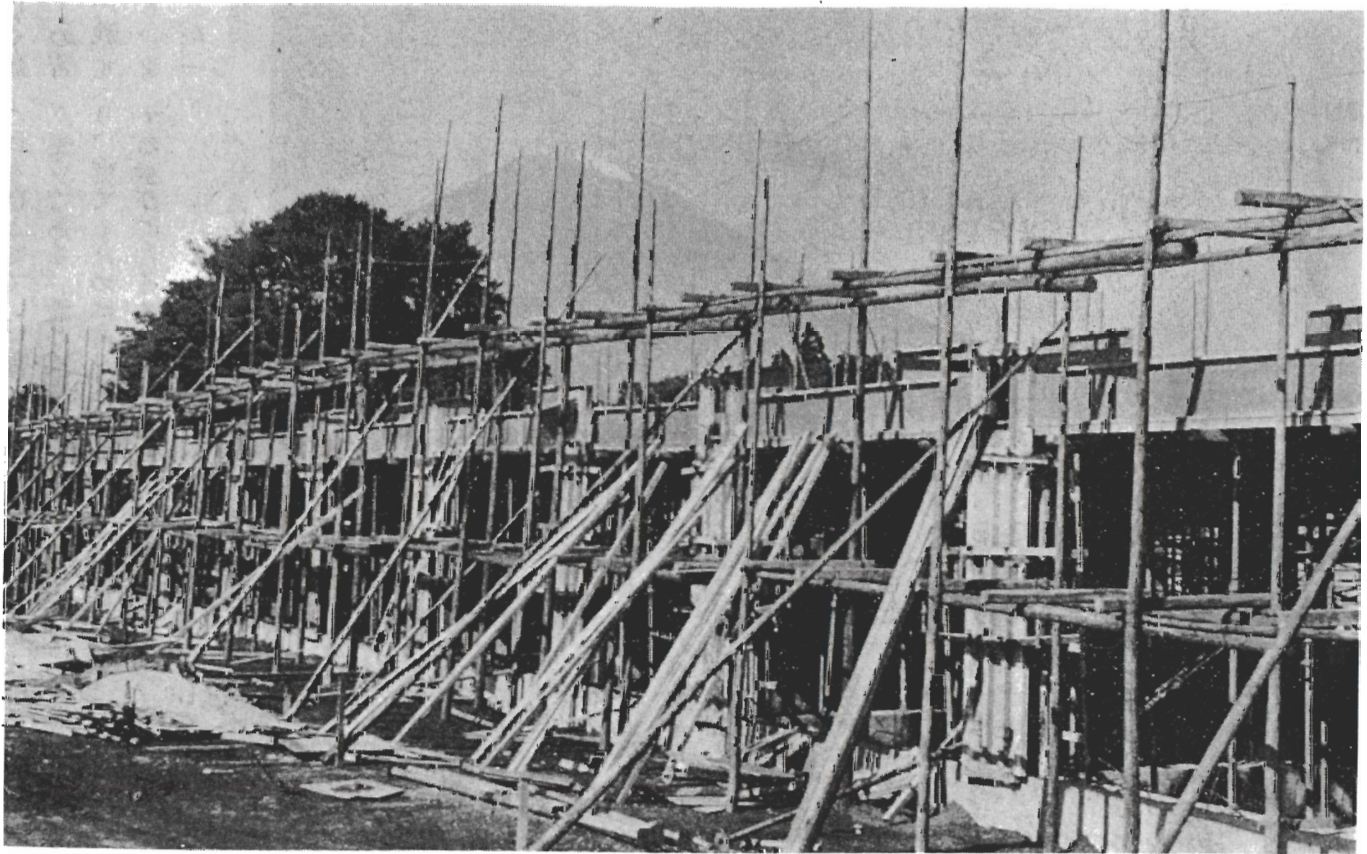
い笑顔で、部屋々々からは笑声が絶えない。長生きして良かったと、こもごも訴えるおとしよりのたちである。

老人ホームという、暗い、じめじめとした陰気くさいイメージをチェンジアップすることに私たちは努力を傾注してきた。そして今また私たちは多くの人々の支援を戴きつつ御殿場分園の建設に着手しているのである。

「老人公害」なんて嫌な言葉は消えて失くなれ。笑いに満ちた素晴らしい老年期を作り上げよう。希望に溢れた黄金の世代としよう。十字の園は老人福祉のビジョンに胸ふくらませているのである。そしてこの幻を現実とするために、おなじく老年開拓を夢みる、若く潑刺とした寮母さんたち、看護婦さんたちの参加を強く希望しております。どうぞ奮って応募されんことを。

十字の園理事長

十字の園理事長



(冬を間近にして建設は急ピッチで進められています)

造る喜び 育てる喜び

仕える喜び

——社会福祉事業の根拠——

西村 一之

子供が絵を画き、粘土をこねて果物や動物や顔を造るとき、何もかも忘れて夢中である。創作することそれ自身が与える喜びに没入している。出来あがった作品にはその子の魂と生命が表現されている。彼には自分の造ったものが、どんなに偉い芸術家が創作したものよりも大切であり、美しくあり、喜びを与えてくれる。自分で造りだすために苦心、苦勞をかけたものは、その分だけ喜びは深い、種を自分で蒔いて、鉢に花を咲かせてみたまえ。どんなに高価で華麗なバラにも比べることのできない、深い感動と喜びを味わうだろう。狭いやせ地に一坪菜園を掘り起こし、少々細いかも知れない大根、虫がとどころ喰いあとを残すかもしれないほうれん草を作ってみたまえ。デパートの野菜部で購入するものなどでは味わえないうま

さと喜びを食するだろう。物を造る喜びも楽しいが、生命あるものを育てる喜びはさらに高く深い。ひとたびその喜びを体で覚えた者は、次第に易しいものからむずかしいものへ、低いものから高いものへと向かっていかざるを得なくなる。むずかしいこと、困難をとまなうものでなければ楽しくない、張り合いが無いという世界がそこに生まれてくる。このように苦勞することが、実は同時に最高の喜びであることを知っているのは母親であるろう。母親は新しい生命の誕生のために産みの苦しみと闘い、それを通して厳肅な生命の喜びを我が身とわが子に体験する。母親はさらに、この生命を大きく育てるために、夜半にいく度か目覚めて授乳し、汚れたものの世話をすること——他人に

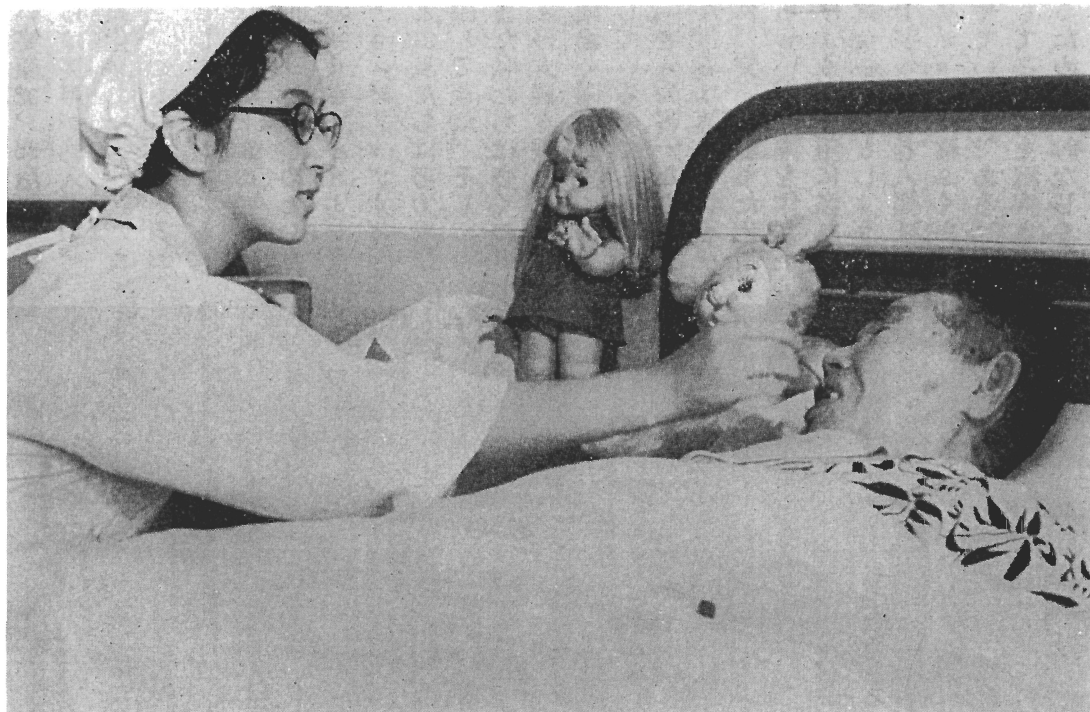
とっては辛い、きたならしく厭うべきことでしかない——の苦勞のなかに潜む喜びを体験する。この苦勞と喜びという、まさに正反対の二つのものがつになるという不思議な世界、

△仕えるVの本来の意味は、

目上の人のそば近くにあつて、その用をすること、公の務をすることである。したがって日本でも西欧でも、他人に仕える仕事は低いやすく、他人を上から支配することが偉いこと、出世とされ、人生の目的と考えられている。

この△仕えるVの意味をひっくりかえし、仕えることに人生の最も高くまた深い叡知と喜びと祝福のあることを身をもって教えたのはキリストである。キリストは、偉大なる精神をもつ人こそ仕えることができ、また生命を生かすために他に仕えることこそ愛の最高の姿であり、人生の奥義であり、神の心であることを示した。

いわく、△あなた方の間で偉くなりたいたいと思う者は、仕える人となり、あなた方の間でかしらになりたいと思う者は、すべての人の僕とならねばならない。わたしが来たのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の生命を与えるためであるVと。



「孫は老人の冠である」(旧約聖書) 自分の孫のような若い寮母さんにやさしく介助されて

会場にあふれる好意

純利益 二六万円をこえる

十一月三日文化の日、澄みわたった空、富士の秀峰をあおぐ絶好の日和、市の中心部御殿場駅から二分の近いところ、西保育園に会場を与えられ、バザーを開催することが出来ました。

この計画がたって四ヶ月、短期間を案じて実行案の再考を重ねたり、東西にほん走、準備等はすべて初めての経験ながら唯々確信を与えられつつ邁進の毎日でした。数多くの協力が与えられ、先づ

わせみて書画に眼を注ぐ人、静かに歩を進めて説明をきかれる人、得たりと、そくぎに買われる人、額ぶちにおさめ語りあう雰囲気は芸術的と奉仕的の交りの間に、午前中は息のつくまな

かなうちにも喜びであふれました。逸作秀作の書、水茎のあとがすがすがしい色紙、油絵、日本画、和紙の古風新作のはり絵、菊花会有志寄贈の鉢物、甲州産地直売のブドウ、みかん店、衣服類、手芸部は献品、製作品

（造花、染物、バック、編物、小物入）の即売店も、机や所をせましと並べられたのですが、驚異の早さで客の手にかわられていきました。「良い品、得がたいものが安く頂けるうえに、この売上げがすべて十字の園のご老人のために役に立つのですから、こんなすばらしいバザーはありませんね」「どういふ方がお集めになったんですか」と尋ねられ互いにご老人のことやホームやさては隣人奉仕の重要さにふれて感激を新たにされました。

「ぜひ貴女も、そのお一人になって下さい」と……

家庭日用品委託マーケットのコーナーも催され、石けんから衣装箱に至るまで、バザーの愛嬌的存在を発揮しこれまた驚きの売行きを示しました。

午後は学生、若い層の来場ににぎわい素早く買上げられてはホッと安堵もいたしました。

「おそかりし？ 残念」の声、会場だけになった室々を巡っては盛況を喜びあう奉仕の方々と語り合う一シーンもみられると共に、各室の様子如何にと問う方の姿、一日の熱戦を慰めあう

方々がみられる頃、すっかり夕暮時となりました。

純利益は二六〇、〇〇〇をこえる!!すばらしい献げもの、かえり!!すばらしい声でございませう。誠にうるわしい一致の喜びとその賜物、支え給う天父に感謝すると共に、更に協力の多くの人々を輪に加えていただき、まだまだ遠い目標の頂上に強力に一步一步近ずかしていただきたいと祈った次第であります。

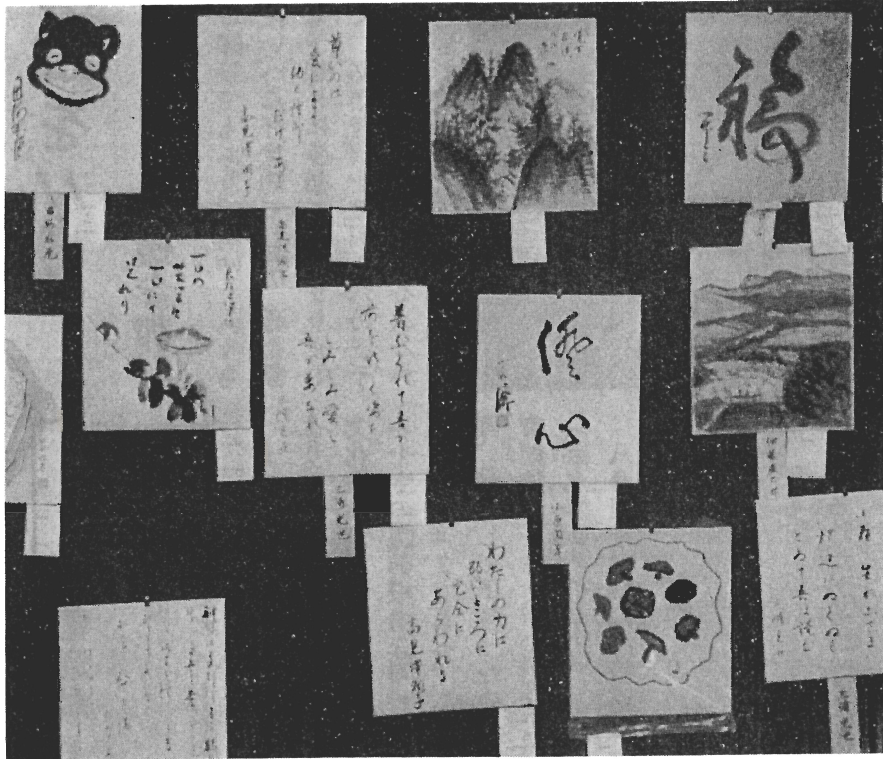
豊島 三四

色紙即売・バザー開催

この計画がたって四ヶ月、短期間を案じて実行案の再考を重ねたり、東西にほん走、準備等はすべて初めての経験ながら唯々確信を与えられつつ邁進の毎日でした。数多くの協力が与えられ、先づ

御殿場教会、十字の園分園建設委員会主催、御殿場市社会福祉協議会後援バザーの看板が市内各所にたてられ、広報車は二日間市内を巡り、有線放送のニュースからも宣伝されて、当日の盛況はすばらしいものでした。

会場は四室に分かれ人波は静



建設資金援助にと有名人から寄贈された沢山の色紙

このバザーのために多くの方々から沢山の品物が寄贈されました。厚くお礼申しあげます。

左に色紙寄贈者のお名前だけ記載させていただきます。

色紙寄贈者（敬称略・五十音順）

- 今村恒美 小原国芳 賀川豊彦
- 賀川ハル 片山哲 勝間田清一
- 川口芝春 岸 信介 倉田俊九
- 小林 勇 島村亀鶴 高見沢潤子
- 田河水泡 西尾末広 早川雪州
- 東山千栄子 長尾 己 三浦綾子
- 三浦光世 武藤富男 武藤啓仙
- 高見山 竹本孫一 本田まさみ
- 羽田金之助 長谷川保 原典夫

若い力で建設を!!

静岡・浜松・東京からも応援参加

九月十三日、沼津、御殿場両市内で街頭募金が行なわれまし

た。十字の園御殿場分園建設の為の募金と、あわせて老人福祉のPRのためです。地元御殿場の教会青年を中心に、浜松十字の園の若い寮母さんたち、それに東京みんなの会や静岡ボランテヤーズの人たちも応援にかけつけて、五十二名のヤングパワーが募金活動に従事しました。

募金額 106,153円

沼津・御殿場両市で街頭募金

台がスピーカーを積んで広報活動、風船やチラシを配って「不幸なおとしよりに暖い老人ホームを贈ろう」と呼びかけました。

ちょうど敬老の日を前にした



沼津繁華街で募金活動

静岡県下で、老人の問題がこ

上野本牧亭で

チャリティー寄席

日曜日でもあり、街ゆく人々もたいへん好意的でした。募金額も予想外に多額にあつまりました、必要経費を差し引き六万三千余円を建設資金に捧げることができました。

「こんな善意が」

十一月十一日(水)午後六時より東京上野本牧亭で「お笑い文化寄席」が開かれた。これは「十字の園御殿場分園」のチャリティーショウである。これを計画、開催して下さったのは野田市朗牧師である。(新丸子教会)

(芸名春風イチロー)

八月三十一日に御殿場のチャリティーショウに協力して下さい、た野田牧師は「金額も大きいし、この教会だけでは荷がおもすぎ、私も何かをしよう」と言われておられたがその後、「東京で寄席をする、私が全責任をもつ献金の目標は五万円とする」と言うお手紙を下さったのである。私は当日本牧亭に行つて挨拶をしただけである。

当日は満員であり、春風亭梅橋、柳亭痴楽、一竜斎貞正、春風亭柏葉、その他でにぎわった。入場者には全員趣意書を受付で渡して頂いた。

このような善意につつまれて

御殿場分園の建設は進められている。こんな善意に如何にして答えて行くかがこれからの課題だと思ふ。

(岡本明夫)

ざんきに堪えません

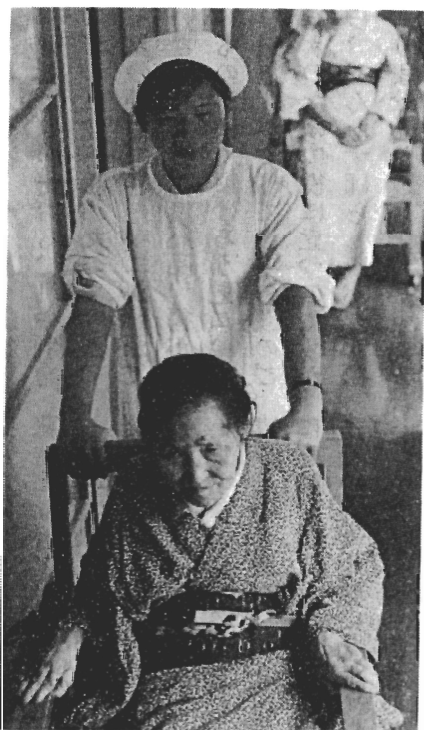
愧しいことですが、不信仰な

私たち委員会には全国の教団関係の諸教会並に役員の方々約一万人に募金趣意書を発送するには拾五万円の資金(郵送料)が必要なのだが、果して、この金が戻って来るだろうかと迷っていたが岡本牧師の励ましによつて、発送にふみ切りました。というのは平素あちこちの施設か

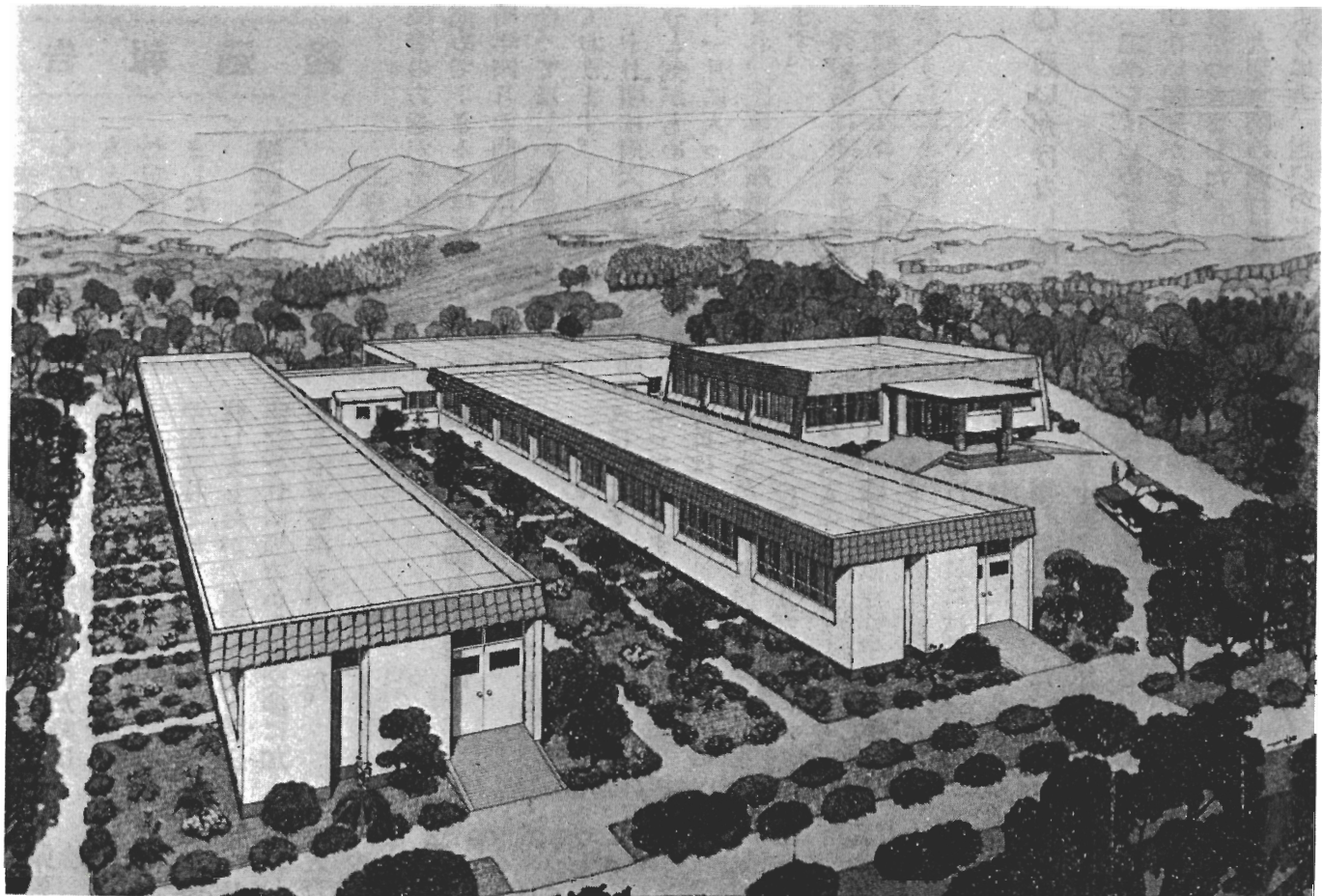
半田市の榎本とき様は

ら何通となく来る募金に対してろくろく内容も見ずに、くず籠に投げ棄てていた自分たちを対照にしたからです。ところが北海道、四国、九州の名も知らぬ土地にお住いの諸兄弟姉から続々と献金され、激励のお便りを頂き、今迄の自分たちの行為を深く反省させられた次第です。

特に愛知県半田市にお住いの榎本とき様から、娘さんが当園に献金されるのを見て、自分も特養ホームの必要なことを知り、毎月千円宛献金したいから郵便振替用紙一年分を送って欲しいというお便りを頂き、大きな感激と励ましを受けたのでした。(鈴木享三)



夕暮になっても光がある (旧約聖書)



御殿場分園完成予想図 北に富士、南に箱根、风光の美しいところです。
近代的設備をすべて整えたデラックスなホームの完成も間近い。

御殿場分園建設資金

献金状況報告

45. 11. 5現在

献金目標額	12,456,400円
現在達成額	6,074,496円
(内 訳)	
一般献金	4,044,464円
チケット献金	92,000円
予約献金	1,411,400円
街頭募金純益	63,463円
チャリティーショウ収入	200,850円
色紙即売バザー収入	262,319円

上の金額は11月5日までに主にある全国の兄弟姉妹ならびに篤志の方々から寄せられた献金です。即ち概略1240万円の目標額に対し献金予約を含めて約600万円、目標のほぼ半ばにまで達することができました。

深い感謝をもってご報告致します。またあわせて一層のお支えをお願い申しあげる次第です。

職員募集

十字の園御殿場分園は静岡県最東端、神奈川県との県境に位置し、ホームの西側窓辺には富士の雄姿が迫り、南には箱根連山を眼のあたりにする景勝の地に建てられます。東京から東名高速道路を利用すれば僅かに一時間余の距離にあり、御殿場インターからも約3分とまことに地の利を得ています。明春四月一日には開園の予定です。

○ 職員の募集について

職種は寮母・看護婦・栄養士・調理員・機能回復訓練士などです。このうち寮母と調理員はなんらの資格も必要とされていません。

年令はなるべく若い方を希望しております。キリスト者もしくは求道中の方々が参加して下さるならば、こんなに嬉しいことはありません。給与は国家公務員に準じます。独身者寮も完備しております。社会福祉事業に熱意を有する方々の応募を期待しております。

経過報告

去る八月五日、多くの方々のご列席のもとに、感謝に満ちた定礎式が行なわれました。

建設工事順調に進む

工事そのものは、業者の方達がその予定に従って進めて下さるとは思いながらも、明年四月の開園に何とか間に合せてほしいと祈りつつ見守っております。

十月頃は雨天の日が多く、随分と気がもめたものでしたが、十一月に入ってから天候に恵まれ、工事も順調に進んでおります。

○ 思いがけない障害も

工事をはじめてみると思いがけない問題がひそんでいっているのに気がつきました。

大型車輛の通行に支障のないようにと、道路の拡幅も、関係

地主の方々との深夜に及ぶ交渉により、やっと承諾を得た時は本当にほっとした思いでした。

また工事に必要な電力も、その配電柱を建てる用地問題で難航しましたが、東京電力・井上建設それに当方からも交渉に加わる形で解決を得ました。

○ 募金活動も活発に

全国の教会ならびに役員の方々にあてて、趣意書の発送を行なっておりますが、この作業に委員は勿論のこと、それ以外の方々も積極的に協力しております。この結果、まだお目にかかったことのない多くの信仰の友から、暖かい献金が寄せられております。

八月三十一日には前号でご報告しましたように、チャリティショウが行なわれました。

九月十三日には、沼津、御殿場両市内で街頭金がなされました。

また十一月三日にはバザーならびに色紙の即売会を行ないました。

○ 県東部二十八市町村に援助を要望

九月初旬、鈴木理事長と共に連日、地図とかんだけを頼りに何百キロとなく、挨拶廻りに明け暮れました。各市町村とも、大方は理解を深めて下さったものと判断しております。

○ 県の補助金

千九百九十四万五千元に決まる

先に自転車振興会からの補助

(横山 巖)

金が決定しましたが、静岡県からの補助金も予想以上に多く決定しましたことは、誠に感謝であります。

○ 森本節夫兄

浜松十字の園で実習

大切な働き人として御殿場教会員森本節夫兄が、自衛隊を退職し、目下浜松の本園で実習に励んでおられることは感謝です。

ご献金のために下記の口座をご利用下さい。

1. 静岡銀行御殿場支店
〈口座名〉 十字の園御殿場分園
2. 駿河銀行御殿場支店
〈口座名〉 十字の園御殿場分園
3. 駿河信用金庫上町支店
〈口座名〉 十字の園御殿場分園
4. 郵便口座 (振替用紙あり)
〈口座名〉 十字の園御殿場分園
〈口座番号〉 東京 81906番

現金書留、為替は下記へお送り下されれば幸です。

静岡県御殿場市萩原477
御殿場分園設立事務所

横山 巖 へ

静岡県引佐郡細江町中川7220
社会福祉法人 十字の園
鈴木 生二 へ

あとがき

本年もいよいよ最後の月を迎えます。第二号をお届け致します。この号がお手許に届く頃は既に紅葉も散って、張りつめた清澄な大気のなかに、富士の山ひだも一層深まることでしょう。

最近御殿場市内で十字の園と言えば、だいたい市民の皆様から、老人ホームだなど判ってもらえるところまで来たのではないかと思います。募金活動やいろいろな催し、更に地元新聞や有線放送によって、或いは県民だよりなどにより、見たり聞いたりなさっているためだと思います。

私共も微力ながら、さまざまな事業を計画し、実行し、そして一応の成功を収めて参りましたが、これもひとえに皆様方の深いご理解と熱いご支援があったればこそと深く感謝を申し上げます。今後ともお祈りとお支えを心からお願ひ申しあげます。

開園まで余すところ短い期間ですが、心静かに神様のお導きを確認して進みたいと思えます。皆様、良いクリスマスをお迎えください。

(森本)